

会 議 録

会議名	第1回 山陽小野田市文化会館 運営委員会
開催日時	平成22年10月21日(木) 19時～20時30分
開催場所	山陽小野田市文化会館 研修室
出席者	(出席委員6名) 富田委員(会長)、杉山委員、瀬口委員、 枝村委員、久賀委員、岡本委員
欠席者	(欠席委員3名) 黒木委員、佐藤委員、南里委員
担当課 及び出席 職員	担当課 文化会館。(出席職員5名) 池田教育部長、廣田館長、弓取次長、木本主査、柏村文化振興係長
会議次第	1 会長あいさつ 2 教育長あいさつ 3 自己紹介 4 議題 (1) 文化会館の運営・事業及び利用状況について (2) 文化会館の現状と課題について ・貸館事業 ・文化会館自主文化事業 ・文化協会自主文化事業 ・文化会館の維持管理 (3) 文化振興ビジョンの策定について 5 その他
会議結果	1 <b>会長あいさつ</b> 年に1回か2回の会議ですが、文化会館がスムーズに運営しますのに皆さんからご意見やお力をお聞かせ頂きたい。 また、館長さんや事務局のメンバーが新たになった。文化会館の運営のために心新たに進めてまいりたいと思いますので、今まで以上に忌憚のないご意見をお聞かせ願いたい。  2 <b>教育長あいさつ(代理池田教育部長)</b> この4月から文化会館の館長を公募させて頂き、廣田館長が就任された。 廣田館長の新しい企画による文化会館独自の自主事業を開催してきており、それなりの成果が出てきている。 また、文化振興ビジョン策定のための最低限の予算を付けて頂

き、2ヶ年で本市文化振興の指針となるビジョンを今から策定したいので、運営委員の皆様からのご意見を賜りたい。

4月から文化振興の業務全体を社会教育課から文化会館に移行した。その中には、文化協会の事務局としての業務も含まれている。文化振興の拠点としての位置付けを明らかにすることで文化会館に移行した。

平成6年に開館したこの文化会館も16年を経過し、施設の痛みが至る所に生じてきており、来年2月には開館以来初めてとなる舞台の吊物関係の大掛かりな補修を実施する予定である。文化関係の予算は確保が難しいと言われているが、文化の振興の一つは街づくりという大きな背景もあり、これからも財政当局へ積極的に必要なものは要求をしていきたい。

本日はいろんな立場からのご意見を出していただき、会を盛り上げていただきたい。

### 3 自己紹介

運営委員会委員、事務局職員の自己紹介

### 4 議題

(規則第4条第3項に基づき、事務局から会議成立の報告。)

#### (1) 文化会館の運営・事業及び利用状況について

事務局－資料（山陽小野田市文化会館の利用状況の説明）  
資料（3年間の教育委員会所管各施設の利用状況  
有料、無料別）  
資料（自主文化事業等の内容及び参加者数）  
の説明

委員－貸館の使用料を修理費に充てるというのは基本的におかしい。財政が厳しいことは理解できるが、大きい修理は予算を獲得することが大事。財政難で文化関係予算が少なくなっているという話は聞いている。実際は逆で、文化すなわち街づくりのためには色んな手段を使って予算は出来るだけ多く獲得して欲しい。

部長－使用料は特定財源という意味ではないので誤解のないように。本市における文化活動の最大の館は文化会館。文化活動は街づくりにつながるものであり、声を大にして予算の獲得に努力したい。

事務局－受益者負担というのは施設の利用者に負担していた

だくものであり、使用料が全額免除ということは、施設を利用しない市民の税金を充てて電気代等の経費を支払わなければならないということである。そうなれば、市民への税金の還元が少なくなるということを委員の皆様にご承知いただきたい。

委員－受益者負担の範囲を明確にすべきではないか。小修繕は受益者負担でいいが、資産的な施設の大補修は公共（税金）で対応すべきではないか。そのような基準を持っていけばいいのではないか。

事務局－使用料の見直しに対する意見も委員の皆さんからご意見をいただき参考にしたい。先日、県の公立文化施設協議会に参加したが、指定管理や財団法人が運営している施設が増えている。市が使用しても使用料を取る施設も出てきている。全額免除等の取扱いで指定管理等の経営が厳しい状況になっている。合併以来、使用料の見直しをしてきていないので、その見直しも来年4月に予定している。

会長－事務局からお話があったように、そういうところまで、この委員会で話を進めてもいいというか、むしろそのように意見を出していただきたいということですので、そうなれば、1回や2回の開催では出来ない。今までは説明をお聞きするだけとか、意見も言えないような状況でしたので、今度は今までとは違って、もう少し踏み込んでいいということですので、手弁当で審議いただくことになると思うが如何でしょうか。この会館をうまく運営していくために、他市の資料等を参考にして、一緒になって審議いただきたいということではないかと思う。そうなりますと別に時間をとってご意見を伺うということも必要なると思う。

部長－運営委員会は文化会館の運営のすべてが審議の対象ということになるが、使用料だけに突出して云々というのは如何なものかと思う。文化会館以外にも市民が文化活動で使用している施設がある。基本的には年2回開催ということになっており、事務局が論議してもらいたいことがあれば、委員の皆様にご了解を得たうえで、早めに事務局が資料をお送りして、次回の運営委員会で要領よく論議してもらおうということで、整理し

ていかなければならない。

委員－修理について使用料や受益者負担という話があったが、どこまで利用者がお金を払うべきか、というのは一市民、運営委員としても意見はある。材料なしで意見を言ってもまとまりにくい。事務局として運営委員会でどこまで意見を集約されようとしているのかははっきりさせていただきたい。その中で委員として意見を言うべきだと思う。

委員－部長が言われたように、ここ（文化会館）だけの施設ではなく公民館などたくさんの施設がある。その辺の使用料をまとめてもらわないと話し合いにならない。ここ（文化会館）の独自性があるというのは理解できる。使用料は公平性が必要であるからそのような資料を出していただきたい。それから緊急的にどのような修理が必要なのかその内容、費用を説明して欲しい。

事務局－池の水を浄化するろ過機の補修が 100 万円程度。小ホールの照明器具の補修。シート防水が経年劣化でかなり痛んできている。全部を補修すれば 1,500 万円程度かかる。大ホールの空調関係も不具合を起こしており、来年度予算で要求するようにしている。また、突発的に故障したケースとして、受水槽のポンプも 2 基あるが 100 万円程度の予算をかけて補修をした。このようなことが頻発的に起こっているということをご理解いただきたい。音響、照明、吊り物関係も補修の時期を迎えており、何千万円という費用がかかる。利用者に迷惑がかからないように文化会館を管理する立場として、精力的に予算要求をしていきたい。

会長－お聞きすると色んなところにお金がかかるということでしたが、次回までに資料（使用料、修理等）を事前に見せていただいたら、委員の皆様から新しい意見がいただけると思いますので、事務局の方でよろしくお願いたします。

それでは、議題の（１）の方はよろしいでしょうか。次に、議題（２）の文化会館の現状と課題ということで、貸館事業、文化会館自主文化事業、文化協会自主文化事業、文化会館の維持管理、少しこれに関わるお話も出ましたが、事務局で説明をお願いします。

事務局－資料（文化会館の現状と課題）について説明。

会 長－ただ今、議題（２）の４つの事業について説明をいただきましたが、何かご質問、ご意見はありませんか。

委 員－運営委員会の役目がわからない。事務局から説明があり、このような案が出ます、というようなことを聞いただけで運営委員会の役目は果たせるのか。

事務局－文化会館の条例・規則は文化会館のコアの部分であり、運営委員の皆様にもその内容について承知をしておいていただきたい。また、条例改正について委員の皆様から意見をいただくことはいいと思う。行政の考えだけで条例改正の案を作成するのは如何かと思うので、事務局として多くの方々の意見を参考にし、反映できるものは反映したいと思っている。

委 員－それなら案を事前に委員が知る必要があるのではないか。

事務局－合併後、条例改正はしていないので、今まで条例改正について運営委員会で審議されたことはないと思う。今後は委員の皆様から意見をいただき、それを反映したもので案を作成し、最終的には議会の承認を得ることになる。

委 員－運営委員会の規則自体に委員の役割が書かれていない。趣旨にも書かれていない。

事務局－運営委員会規則第１条の趣旨に附属機関に関する条例第３条の規定に基づき、運営委員会の組織、運営その他必要な事項について定めるものとする、となっているが、何々のために審議するとかいう目的がない。

委 員－目的がわからない。以前にも発言したことがあるが、委員として判らないまま発言してきている。

会 長－最初から言っておられましたよね。何しに来ているんだろうって。

委 員－文化協会自主文化事業が議題となっているが、私は文化協会の副会長をしており、どのような立場で発言しているのかよくわからない。

事務局－このたび文化会館に文化協会の事務局が移管されてきたので、運営委員会の守備範囲の中に入ってくるのではないかと考えている。したがって、この委員会で意見を言うことは別に問題ないと思う。

委員－そうは言っても、文化協会という組織があり、そこでも色々と議論されている状況があるので、この委員会に諮るべきことなのかどうかを整理する必要があるのではないかと。それから、議題の（１）で利用状況についてとあり、議題（２）でも現状というのがあり重複する部分があるので、課題を明確にした方が委員としても発言しやすい。

部長－意見を参考にさせていただきたい。

委員－小ホールの使い方として、ガラス展とか絵画等の展示ホールも考慮して欲しい。

事務局－市内にはギャラリーがないということで、小ホールをギャラリー的な雰囲気が醸し出せるようなスペースにしていきたいと考えている。利用者増にもつながる。

委員－館長が話された文化会館の自主文化事業もとてもいいことなのでどんどん実施して欲しい。館長は上手に国とか県からお金を持ってこようとしているが、とても大事なことだと思う。

会長－「おんがくであそぼう」とか「マタニティプコンサート」とかどれくらいの親子さんが参加していますか。新聞にも掲載されていましたが。

館長－「おんがくであそぼう」は年齢で２クラスに分け、だいたい１０組ずつで実施している。広報に掲載しているので毎月少しずつ増えている。

会長－指導される先生はボランティアですか。

館長－促進事業の補助で謝金を支払っている。「マタニティプコンサート」は２０人ぐらいで実施した。参加料５００円で実施しているが、これは補正予算も認めていただき謝金を１万円支払い、なるべく収支が合うように実施している。「アラ還フェスティバル」は９月４日に実施したがボランティアで来ていただいた。

会長－FMきららでも宣伝してましたね。楽しそうな感じが伝わってきました。それでは議題（２）はよろしいでしょうか。それでは、議題（３）の文化振興ビジョンの策定について、事務局から説明をお願いします。

事務局－合併後、山陽小野田市文化振興ビジョンは策定されていなかった。２２、２３年度の２年間で策定することと

なり、市民公募委員を含め 10 名で検討委員会を  
発足させ、10 月 29 日に第 1 回目が開催される。  
今年度は 5 回程度検討委員会を開催する予定。この街  
の文化に対して運営委員さんも色々なご意見をお持ち  
でしょうから、将来の文化のあるべき姿を是非聞か  
せていただきたいということで議題にあげさせてい  
ただいた。

会 長—何かご意見はありませんでしょうか。これは今から委  
員会が立ち上がるわけですから、委員さんの方で何か  
ご意見をお持ちでしたら直接事務局の方へ伝えてい  
ただきたいと思います。

委 員—ビジョンというのは具体的ではなく抽象的なものにな  
ってしまうので、実施することが可能な組織づくり  
をして欲しい。

部 長—ビジョンの策定については、公募の館長である廣田館  
長、芸術顧問の田村先生には無報酬で智恵を出して  
もらわなければならない。

会 長—その他で何かありませんか。

事務局—文化会館に多くの方々に足を運んでもらわないとそ  
のイベントや文化会館の良さがわかってもらえない。  
例えば、プレイガイドの在り方やチケットの販売の件  
なども委員の皆様にも運営という観点からも、次回に  
でもご意見を聞かせていただきたい。

委 員—助成事業などに申請してどんどんお金を取ってきて  
いただきたい。PR の仕方ですが、ホームページをも  
っと充実していただきたい。催事計画が当月分しか出  
ていない。それを 3 ヶ月先まで掲載するようにする。  
過去のコンサートの中身を PR するのも大切である。  
会館の公用車でテープをアナウンスして市内を巡回  
する。ティータイムコンサートの内容はどのようなも  
のか。

事務局—これも館長のアイデアで、3 時のおやつの前、2 時  
間程度、ケーキやパン、飲み物を食べながらコンサ  
ートを 14 時から 16 時まで実施しようというもの。

委 員—大賛成。境港市もホール（400 名定員）でサロンコン  
サートを実施している。19 時 30 分から 1 時間程度、  
ここで言えばロビーでケーキやコーヒーなどを出し

てコンサートを毎月実施している。周りのアマチュアの方々に発表の場を提供する目的もある。料金はワンコインの 500 円で実施して毎回 100 人ほど集まっている。

委員－アンケートもぜひ活用していただきたい。

事務局－アンケートの内容も委員の皆様からアドバイスをいただきたい。また、文化会館利用実績票も作成しており、利用者からの意見を把握している。この内容についても委員の皆様からのご意見をいただきたい。先程貴重なご意見をいただいたので、今後ともよろしくお願ひしたい。

委員－アンケートはあまり難しいことを書いてもダメ。

会長－アンケートは簡単で粹目のいくものでないといけない。

事務局－天姿国楽のときはアンケートの回収率がよかった。

会長－議題の方はよろしいでしょうか。議題がないようでしたら事務局の方でお願いします。

事務局－今までの事務局と違うような発言もあって戸惑われたのではないかと思います。事務局としましても、今後とも委員会のときだけではなく、何か思いついたときでもいいですから、ご遠慮なく F A X 等で事務局へ意見をお寄せいただきたい。

館長－今日は大変お忙しい中をありがとうございます。皆様から貴重なご意見をお聞きしましたが、委員の皆様は大変お忙しいと思いますが、会館に足を運んでいただき、会館を良くするためにお叱りを受けたりもしたいのでどうぞお気軽に来ていただいたり、電話でもご意見をお聞かせいただきたいと思います。本日はありがとうございます。